



日 汉 对 照

# 两分铜币



2 031 3144 0

日汉对照

# 两分铜币

〔日〕黑岛传治 著

吴俗夫 注释



上海译文出版社



2 031 3144 0

«二銭銅貨»、«猪群»选自岩波文庫«渦巻ける鳥の群»  
短篇小说集。«電報»选自雨日文庫«現代日本文学・昭和戦  
前編»。译文选自«黑岛传治短篇小说选»(李芒等译),略有  
改动。

日汉对照

两分铜币

(日)黑岛传治 著

吴俗夫 注释

上海译文出版社出版

上海延安中路 967 号

新华书店上海发行所发行

上海日历印刷厂印刷

开本 787×960 1/32 印张 3.25 字数 51,000

1979年3月第1版 1979年3月第1次印刷

印数: 1—150,000 册

书号: 9188·31 定价: 0.25 元

## 内容提要

黑岛传治(1898—1943)是日本近代进步作家。这里所收的三个短篇小说《两分铜币》、《电报》、《猪群》，都是描写日本农民生活的。

《两分铜币》和《电报》中，作者通过对贫苦农民的儿子藤二和元吉这两个人物的描写，表达了作者对劳动人民的深切同情。《猪群》通过农民们团结起来同地主及其帮凶进行机智斗争的故事，歌颂了农民斗争的胜利，同时，也批判了农民中的落后思想，指出贫苦农民只有团结起来进行斗争才有活路。

## 目 录

两分铜币.....	2
电 报.....	22
猪 群.....	60

## 目 录

两分铜币.....	2
电 报.....	22
猪 群.....	60

# 二 錢 銅 貨

## 一

獨樂が流行っている時分だった。<sup>じぶん</sup>弟の藤二<sup>おとうと とうじ</sup>がどこからか<sup>けんきち</sup>健吉が使い古した古獨樂をさがしだして来て、左右の掌の間に三寸釘の頭をひしゃいで通した心棒をはさんでまわした。まだ、手に力がないので<sup>いつしようけんめい</sup>一生懸命にひねっても、獨樂は少しの間立って回うのみ<sup>ま</sup>で、すぐみそすつてしまう<sup>しょう</sup>。子供の時から健吉は凝り性だった。獨樂に磨きをかけ、買った時には、細い針金のような<sup>さんすんくぎ</sup>心棒だったのを三寸釘にさしかえた。その方がよく回って勝負をすると強いのだ<sup>じゆう</sup>。もう十二三年も前に使っていたものだ<sup>はい</sup>が、ひびきも入っていず<sup>る</sup>、黒光りがして、重くいかにも木質が

- 
1. (弟の藤二)弟弟藤二。の: 格助词, 表示同格。△長女の雪子 / 長女雪子。 2. (どこからか) 不知从哪里。か: 副助词, 表示不定。△だれかがきみを待っている / 有人在等你。 3. (ので)接续助词, 接用言连体形下, 表示原因或理由。4. (のみ)文语副助词, 意为“只”“仅”“唯”。△静かでただ波の音のみ聞える / 寂静得只能听到波浪声。 5. (すぐみそすつてしまう) (转一会儿)马上就倒了下来。“みそすつて”由“みそをする”变来。しまう: 补助动词, 表示消极的结果。△夕べの大あらしで木が倒れてし

## 两分铜币

这是陀螺流行的季节。弟弟藤二不知从哪儿找到了哥哥健吉玩旧了的陀螺，用两只手掌挟住一根把头打扁了、插在中间作轴心的三寸钉，使劲地搓。可是他因为手头上还没有多大气力，不管怎样用力搓，那陀螺也只是站起来转那么一会儿，马上就倒下来了。健吉从小就是个好钻研的孩子。他把陀螺擦得通亮，买回来的时候，用一根三寸长的钉子把那根象细铁丝一样的轴心换了下来。这样陀螺就转得快，比赛起来能够赢。虽说这是十二三年前的东西，可是，没有一丝裂缝，发着乌黑的光，沉甸甸

---

まったく/由于昨晚的暴风雨，树都倒了。 6. (細い針金のような) 细铁丝般的。 ような：比况助动词“ようだ”的连体形，意为“好象”“似乎”“仿佛”。 △彼女は女学生のようなかっこをしている/她打扮得象个女学生(似的)。 7. (勝負をすると強いのだ) 比赛起来能够赢。 と：接续助词，表示前后两个事项的并存，意为“在…的时候”。 のだ：形式体言“の”和断定助动词“だ”的重迭，表示加强语气。 △あの人に行くのだ/他是要去的。 8. (十二三年も前に使っていたものだ) 直译：十二三年之前使用过的东西。 も：提示助词，接数词下，带有夸张的语气。 △三時間も話しつづける/竟连续讲了三个小时(之久)。 もの：形式体言，这里代替了“こま”。 9. (はず)文语否定助动词，接用言未然形下，表示否定。 这里是连用形的中顿法。

堅そうだった<sup>10</sup>。油をしませたり、蠟を塗ったりしたのだ。今、店頭で売っているものとは木質からして<sup>11</sup>異う。

しかし、重いだけ<sup>12</sup>幼い藤二には回しにくかった<sup>13</sup>。彼は、小半日も上がり框の板の上でひねっていたが、どうもうまく行かない<sup>14</sup>。「お母あ、独樂の緒を買うて。<sup>15</sup>」藤二は母にせびった。

「お父うにきいてみイ。<sup>16</sup>買うてもえいか。<sup>17</sup>」「えいいうた。<sup>18</sup>

母は、何事にも<sup>19</sup>こせこせする方だった。一つは苦しい家計が原因していた<sup>20</sup>。彼女は買ってやることになつても<sup>21</sup>、なお一応、物置きの中をさがして、健吉の使い古しの緒が残っていないか確かめた。

10. [堅そうだった]似乎很坚硬。形容词词干下接样态助动词“そうだ”，意为“好象”“似乎”。△この小説はおもしろそうだ/这部小说好象很有趣。11. [からして]补格助词“から”下接“して”表示加强语气，意为“从…来看”。△あの人は顔つきからしてやさしそうだ/那个人从相貌来看就使人感到很亲切。12. [重いだけ]因为重。だけ：副助词，这里表示原因。△値段が高いだけ(に)物の質もいい/因为价钱贵，所以东西质量也好。13. [回しにくかった]难转动。にくい：接动词连用形下，意为“难于”“不易”。△言いにくいく/ 难说；不好说。△食べにくいく/ 难吃。

14. [うまく行かない]不行，不成；不顺利。15. [買うて]请买，买吧。て：接续助词，下面省略了“くれ”。关西方言把“買う

的，看来木头是很硬的，当时他给这个陀螺浸了油，打了蜡。这陀螺比起现在店铺里卖的，那木质可大不相同哩。

可是，它越重，对藤二来说就越难转动。他在门口木板地上转来转去，足足弄了大半天，可总是转不好。

“妈，给我买根陀螺绳吧！”藤二缠着妈妈说。

“问问你爹，他答应买吗？”

“他说行啊。”

妈妈不论做什么都很小气，贫穷是使她这样的一个原因。尽管她答应去买了，可是还要到堆房里去查看查看，是不是真没有健吉用剩的旧绳子。

---

て”读作“こうて”，等于东京语“かって”。此外，如关西方言中的“いうて(言うて)”和“おもうて(思うて)”等于东京语“いって(言つて)”和“おもって(思つて)”。 16. [お父うにきいてみイ]みイ：方言，同“みる”的命令形“みろ”。动词连用形下接“てみる”，表示“试试看”的意思。 △もうすこし待ってみる/再等一下看。  
17. [買うてもえいか]直译：可以买吗？えい：等于“いい”或“よい”。动词连用形下接“てもいい”，意为“(也)可以…”“…也行”。△あなたも行ってもいいです/你也可以去。  
18. [えいいいうた]说行，说可以。  
19. [にも]补格助词“に”和提示助词“も”的重迭。に：表示对象；も：表示兼提。“にも”相当于“に対しても”。  
20. […が原因していた]原因是…。表示强调原因。△人手不足が原因して、この仕事はやめなければならなかった/因为人手不够，那项工作不得不停止了。  
21. [買ってやることになっても]やる：补助动词，表示我或我一方给同辈或晚辈作什么。△黄先生は彼を助けてやった/黄老师帮助了他。ことになる：表示结果或客观的决定。

かわそ ちい ぶらく こども どう まえ あつ  
川添いの小さい部落の子供たちは、堂の前に集  
まつた。それぞれ新しい独楽に新しい緒を巻い  
あたら こま あたら おま  
て回して、二ツをこちあてあって<sup>22</sup>勝負をした。  
それを子供たちはコツリコといった。緒を巻い  
ちから い はな ひ こま す まわ  
て力を入れて放って引くと、独楽は澄んで回りだ  
ふたり どうじ まわ か じぶん  
す。二人が同時に回して、代わりがわりに自分の  
こま あいて こま いつばう こま  
独楽を相手の独楽にこちあてる。一方の独楽が、  
みそをすって消えてしまうまでつづける。先に消  
ほう ま  
えた方が負けである。

「こんな黒い古い独楽を持つとる者はウラ（自  
ぶん い くろ よる こま もの もの  
分の意）だけじゃがの。<sup>23</sup> 独楽も新しいのを買う  
とうじ はは  
ておくれ<sup>24</sup>。」藤二は母にねだった。

「独楽は一つあるのに買わいでもえいがな。<sup>25</sup>  
はは  
と母はいった。

「ほいたって、こんな黒いんやかい……みんな  
サラを持つとるに！<sup>26</sup>」

以前に、自分が使っていた独楽がいいという自  
しん けんきち  
信がある健吉は、

22. (二ツをこちあてあって) 使两个互相碰撞。あう：补助动词，接动词连用形下，意为“互相…”。 23. (こんな……ウラだけじゃがの)とる：等于“ておる”，俗语。ウラ：方言，人称代词，等于“ぼく”。じゃ：等于“だ”，俗语。がの：方言，终助词，相当于“よ”。 24. (買うておくれ) 给我买吧。くれ：补助动词“くれる”的命令形。くれる：一般用于同辈、晚辈给我或我一方人做

河岸上的这个小小村庄的孩子们，都跑到庙堂前面，一齐转起缠着新绳子的新陀螺。两人一对地碰陀螺，比输赢。孩子们把这玩艺叫做“高兹兹利高”。他们把绳子缠好，用力一抽，陀螺就象定住了似地转起来。两个人一块儿转，然后再轮换着让自己的陀螺去碰对方的，直到有一个陀螺嗞地停住。先停住的，就算输了。

“只有我自个的这么黑，这么旧，陀螺也买个新的吧！”廉二跟妈妈闹着说。

“陀螺有一个，不买也行啦。”妈妈说。

“不，都这么黑啦……人家都是新的。——”

健吉觉得自己从前玩过的陀螺并不坏，就说：

---

什么，但是，也可以用于父母给孩子做什么。お：接头词，表示亲切或客气。 25. (独楽は……買わいでもえいがな)のに：逆态接续助词，意为“却”“偏偏”。買わいでもえいがな：等于“買わなくてもいいじゃないか”。がな：文语终助词，多用于老人，表示质问。 26. (ほいたって……持つるに)全句等于“そう言ったって、こんな黒いのだから……みんな新しいのを持っているよ”。ほ：方言，等于“そう”。たって：接续助词，接动词连用形下，意为“即使…也…”“尽管…也…”。△いくら忠告したってだめだ/尽管怎样劝告还是枉然。や：断定助动词，等于“だ”，方言。かい：方言，接续助词，表示原因，等于“から”。サラ：俗语，意为“新”。△サラのスカート/新裙子。△サラでなければいらぬい/不是新的不要。に：这里相当于“よ”。

「阿呆いえ、その独楽の方がえいんじゃがイ！」  
と、なぜだか弟に金を出して独楽を買ってやる  
のが惜しいような気がしていった。

「ううむ。<sup>27</sup>」  
兄のいうことは何事でも<sup>28</sup> 信用する藤二だった。

「その方がえいんじゃ、勝負をしてみい。それ  
に勝つ独楽はだれっちゃ持つとりやせんの  
じゃ<sup>29</sup>。」

そこで独楽の方は古いので納得した。しかし、  
母と二人で緒を買いに行くと、藤二は、店頭の木  
箱の中に入っている赤や青で彩った新しい独楽  
を欲しそうにいじくった。

雑貨店の内儀に緒を見せてもらいながら<sup>30</sup>、母  
は、

「藤よ<sup>31</sup>、そんなに店の物をいらいまわるな<sup>32</sup>。  
手あかで汚れるがな。」といった。

「いいえ、いろいろたって大事ござんせんぞ  
な<sup>33</sup>。」と内儀は愛相をいった。

緒は幾十条もそろえて同じ長さに切ってあっ

27. (ううむ)感叹词, 同“うむ”或“うん”, 意为“好”“嗯”。 28. (でも)提示助词, 提示一个较轻松的事项而暗示其他。 △あの人は何でも知っている/他无论什么都知道。 29. (だれっちゃ持つとりやせんのじゃ)全句等于“だれといって(だれも)持っておりは

“傻瓜，这陀螺还不好？”他不知怎的总有点舍不得给弟弟钱去买陀螺。

“嗯。”藤二一向是哥哥说什么就信什么的。

“你那个多好。跟别人比一下看，谁也比不上它！”

谈到这里，藤二觉得旧陀螺也可以了。可是当母子俩去买绳子的时候，藤二在店铺里却眼馋似地摸弄着木盒里的五颜六色的新陀螺。

妈妈一面在看杂货铺老板娘拿出来的陀螺绳，一面说：

“藤呀，别这么摸弄人家铺子里的东西呀。瞧，给你那黑手弄脏了吧！”

“不碍事，摸摸没关系的。”老板娘亲切地说。

几十根绳子剪得整整齐齐，一般长短，只有一

---

しないのだ”。动词连用形下接“は”再接“しない”，表示强烈的否定，意为“决不”。△そんなことはありはしない/决不会有那样的事。  
30.〔見せてもらいながら〕ながら：接续助词，接动词连用形下，表示两个事项的并存。△笑いながらいう/边笑边说。

31.〔よ〕终助词，表示呼呼。△青年よ、しっかりやれ/年轻人呀，加油干吧！  
32.〔な〕终助词，表示禁止。△ここでタバコを吸うな/别在这里抽烟。  
33.〔いろいろたって大事ござんせんぞな〕(即使)摸摸也没有关系啊。いろいろたって：等于“いらっしゃつて”。大事ござんせんぞな：相当于“かまいませんよ”。ぞな：方言，终助词，相当于“よ”。

た<sup>34</sup>。その中に一條だけ他のより一尺ばかり  
短いのがあった。スンを取って切って行って、  
最後に足りなくなつたものである。

「なんばぞな<sup>35</sup>?」

「一本、十錢よな<sup>36</sup>。その短い分なら八錢にし  
といてあげまさ。<sup>37</sup>」

「八錢に<sup>38</sup>……」

「へえ。<sup>39</sup>」

「そんなら、この短いんでよろしいワ。<sup>40</sup>」

そして母は、十錢渡して二錢銅貨を一つ釣り錢  
にもらった。なんだか二錢もうけたような気がし  
てうれしかった。

帰りがけに藤二を促すと、なお、彼は箱の中の新  
しい独楽をいじくっていた。他から見ても、いか  
にも、欲しそうだった。しかし無理に買ってくれ  
ともよくいわずに<sup>41</sup>母のあとからついて帰った。

## 二

となりぶらくてらひろばいなかもわすもうき  
隣部落の寺の広場へ、田舎回りの角力が来た。

34. (切ってあった) 切断, 截断, 剪断。てある: 构成动词存续态, 表示过去的結果現在仍然存在着。这时, 一般把他动词作为自动词处理。△庭に桜が植えてある/院子里种着樱花。 35. (ぞな)方言終助詞, 表示疑问。同“か”。 36. (よな)終助詞, 表示主张或唤起对方注意。 37. (その短い分なら八錢にしといてあ

根比别的短一尺，那是在剪成段的时候，剩下的不足尺码的一段。

“多少钱？”

“一毛钱一根，买那根短的，就算您八分钱吧。”

“八分钱——”

“嗯。”

“那就要这根短的好啦。”

于是，妈妈给了一毛钱，找回来一个两分的铜币。不知怎的，她就象挣了两分钱似地那么高兴。

当她催促藤二回去的工夫，藤二却还在摸弄着盒里的陀螺。从旁边看来，他真是舍不得放下似的。可是也不敢说出想买的话，就跟着妈妈回家了。

## 二

邻村庙前的广场上来了个跑乡村的摔跤班子。

げまさ)直译：如果是短的，那就八分钱卖给你。なら：助动词“だ”的假定形，接体言下，表示假定。もといて：“しておいて”的约音。まさ：方言，等于“ます”。ておく：表示预先做好某种准备动作。あげる：“やる”的敬语，表示我或我一方人给同辈或晚辈做什么。  
38. [(八銭に) 下面省略了“してくれるのですが”。  
39. [へえ] 方言感叹词，等于“はい”。  
40. [(そんなら……よろしいワ) そんなら：接续词“それなら”的口语体，意为“如果那样”。“要是那样”。んで：等于“ので”。ヲ：终助词，表示感叹或婉转的语气。女子用语。  
41. [(ともよくいわずに) 也不敢说。とも：补格助词“と”和提示助词“も”的重迭。よく：下接否定式，表示“不敢”。

子供たちはみんな連れだって<sup>42</sup>見に行った。藤二も行きたがった。しかし、ちょうど稻刈りの最中だった。のみならず<sup>43</sup>、牛部屋では、鞍をかけられた牛が、粉ひき白をまわして、くるくる、真ん中の柱の周囲を回っていた。その番もしなければならない。

「牛の番やかいドーナリヤ！<sup>44</sup>」いつになく藤二是いやがった。彼は納屋の軒の柱に独楽の縁をかけ、両手に端を持って引っぱった。

「そんなら雀を追いに来る<sup>45</sup>か。」

「いいや。<sup>46</sup>」

「そんなにキママをいうてどうするんぞいや！ 粉はひかにやならず、稻にや雀がたかりよるのに！<sup>47</sup>」母は、けわしい声をだした。

藤二是、柱と縄引きをするように身を反らし縁を引っぱった。しばらくして、小さい声で、

「みんな角力を見に行くのに<sup>48</sup>！」といった。

「うちらのような貧乏タレにゃ、そんなことはしどれやせんのじゃ！<sup>49</sup>」

42. (連れだって)成群结队地。 43. (のみならず)不但如此，不仅如此。这里是接续词，等于“そればかりでなく”。 44. (牛の番やかいドーナリヤ)直译：因为要看牛，真没办法。やかい：方言，等于“だから”。ドーナリヤ：同“どうにもならない”。